

## 【座間味村】

### 校務DX計画

これまで、デジタルソフトの導入、校務支援グループウェアの導入を行うとともに、オンライン会議システムを活用する等校務の効率化を進めてきたところである。

今後、更なる校務DXを推進するためにゼロトラストに基づくセキュリティ対策を講じた上での校務系・学習系ネットワークの統合を図り、端末の一台化を進め、

#### 1. コミュニケーションツールの活用

校内での事務連絡等や個別の連絡にチャットを有効活用することで、いつ、どこにいても即時共有が可能となる。また電話で行っている教育委員会と学校現場の連絡手段としても活用し、互いの都合の良いタイミングでの対応が可能となり、業務時間の削減に繋がる。

#### 2. クラウドツールの活用

学校における資料の共有、保護者への情報発信や収集のデジタル化を継続して進めるとともに、成績や指導要録の管理での活用も検討することで、災害時等における資料損失のリスク軽減にもつなげる。

#### 3. 校務DXチェックリスト

校務DXチェックリストの項目は、標準仕様のクラウドツールで十分対応可能となっており、クラウドツールの校務での利活用の促進を図るための教育委員会の研修や校内研と連携した研修の充実を図っていく。

#### 4. FAX・押印について

FAXや押印については、各小中学校教諭との間で検討会を立ち上げ、文書管理規程の見直し、コミュニケーションツールでの代替及びシステム等の導入検討を行う。

#### 6. 校務での生成AIの利活用について

校務での生成AIの利活用を図る。まずは、日常の公文等の文章の添削、要約、学校アンケート等の分析活用。先生方の授業や授業外でのアイデア出しなど、先生方が校務で慣れるから活用までを想定し、研修会等も計画に実施していく。

#### 7. 次世代校務支援システムの導入に向けて

沖縄県教育委員会と連携し、次世代校務支援システムの導入に向けて連携を図り、校務DXの推進を図っていく。

#### 8. 外部人材の活用

教育DXフェローの設置を検討し、専門家からの助言等を参考の上、離島におけるハンデの解消に取り組む。